



江別市立病院 経営強化プランを策定しました

江別市と近隣市町村を含む地域において、持続可能な地域医療提供体制を確保しつつ、市立病院の経営強化を着実に推進するため、国のガイドラインを踏まえて「江別市立病院経営強化プラン」を策定しました。

〔詳細〕市立病院事務局経営企画室
経営企画課 ☎382-5151

計画の対象期間

対象期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間であり、この期間で収支均衡を実現し、累積欠損金の解消を目指すため、計画に記載されているさまざまな取り組みを進めます。

計画内容の見直し

外部委員で構成される「江別市立病院経営評価委員会」が進捗の点検・評価を定期的に行い、その状況を踏まえ、中間年度令和8年度）に必要な見直しを行うほか、計画の期間中に、市立病院を取り巻く環境の変動などが生じた場合には、必要に応じて計画内容を見直します。

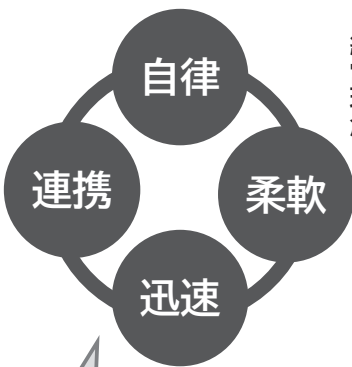
プランの概要

次のビジョンと経営理念を基本的な考え方とした上で、公立病院に求められている持続可能な地域医療提供体制を確保するために、「役割・機能の最適化と連携の強化」「医師・看護師等の確保と働き方改革」「経営形態の見直し」「新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組」「施設設備等の最適化」「経営の効率化」などの取り組みを記載しています。

▼実現すべき医療【ビジョン】

地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する。

▼ビジョンに到達するための経営理念



【自律】効果的かつ効率的に病院を運営し、一般会計に依存しない自律した病院経営を目指す
【連携】地域の医療機関とネットワークを創り上げ、市民が最適な医療を受容できる体制を構築する

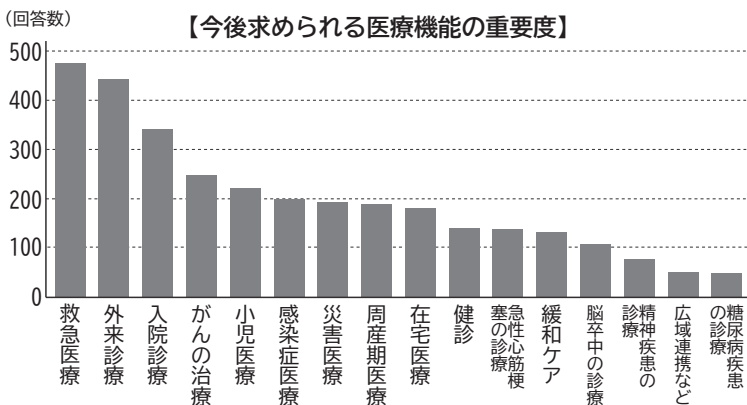
【柔軟】環境の変化に柔軟に対応し、持続的に医療を提供できる病院経営を目指す
【迅速】状況変化や環境変化（国の制度変更・人口動態の変化など）に迅速かつ的確に対応する体制を構築する

市民アンケート調査結果（令和5年度実施）

経営強化プランの策定に向けて、市民2,000人を対象とするアンケート調査を実施しました（回答者661人、回答率33.1%）。

市立病院が提供する医療の認知度は「救急医療」、「感染症医療」、「がん手術」が高い結果となり、重要度が高いと思う医療は「救急医療」「外来診療」「入院診療」が回答の半数以上となりました。

また、「小児医療」「感染症医療」「災害医療」「周産期医療」などの政策医療は一定の重要度が認識されていることが確認されました。



この結果を踏まえ、市立病院は公立病院に求められる政策医療を担いつつ、地域医療連携の取り組みを進め、持続可能な医療提供体制の確立を目指して取り組みます。



本計画は市立病院や市内公共施設などで配布しているほか、下の二次元コードから見るることができます。

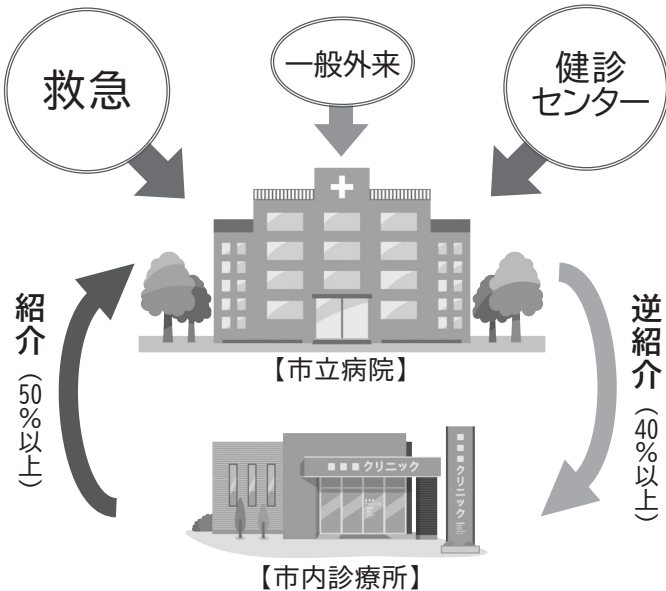


▼ 経営強化プランの一部を紹介します

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ①地域医療構想を踏まえた市立病院の果たすべき役割・機能
 - ・地域の基幹的医療機関として入院機能を強化
 - ・医療との接点（入口）となる健診事業を強化
 - ・早期発見と緩和ケアに重点を置いたがん診療体制の構築
 - ・市内の医療機関、関係機関と連携し、市民の命を守る救急医療体制を確保
 - ・病院の総合力を活かした高齢者医療の充実
 - ・安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
 - ・認知症高齢者とその家族を支える医療の充実
 - ・健康寿命の延伸に向けた健診事業の充実
- ③機能分化・連携強化
 - ・市内の医療機関との連携を強化し、紹介・逆紹介を推進
 - ・札幌市内の専門的な医療機関との連携を強化
 - ・広域ネットワークの構築

「紹介受診重点医療機関」の導入を踏まえた取り組みの方向性（イメージ）



紹介受診重点医療機関

かかりつけ医などからの紹介状を持っての受診に重点を置いた病院を指します。手術・処置や化学療法などを必要とする外来、医療機器・設備を必要とする外来などを行います。

④医療機能や医療の質、連携の強化などに係る数値目標

	R4年度【基準】	R10年度【目標】
救急搬送患者数	1,139人	1,800人
紹介率 <small>※（）内は発熱外来を除く</small>	10.5% (19.4%)	50.0%
逆紹介率 <small>※（）内は発熱外来を除く</small>	13.3% (24.3%)	40.0%
健診受診者数	3,667人	6,900人

⑤一般会計負担の考え方

- ・自律的な経営と政策医療などに対する公費負担によって収支均衡を実現

⑥住民理解のための取り組み

- ・年齢層、地域特性などを踏まえ、戦略的に広報活動を展開

(2) 医師・看護師などの確保と働き方改革

- ①医師・看護師などの確保
 - ・担うべき医療の重点化を図り、医療従事者の確保を計画的に推進
 - ・大学医局との関係構築・強化に努め、内科診療体制を構築
- ②臨床研修医の受入れなどを通じた若手医師の確保
 - ・働きがいのある魅力的な病院を目指し、教育体制と研究環境を充実
- ③医師の働き方改革への対応（元気が出る組織づくり）
 - ・「元気が出る組織づくり」に取り組み、病院全体で働き方改革を推進

(3) 経営形態の見直し

- ・地方公営企業法全部適用の効果を継続的に検証

(4) 新興感染症の感染拡大時などに備えた平時からの取り組み

- ・関係機関との協力体制を強化

(5) 施設・設備などの最適化

- ・必要な医療を安定的に提供するため、外部改修工事を実施
- ・電子カルテシステム等を最大限に活用し、医療DXを推進

(6) 経営の効率化など

①経営指標に係る数値目標

	R4年度【基準】	R10年度【目標】
給与費対業収益比率	56.3%	58.0%
1日当たり入院患者数	175人	215人
入院診療単価	48,852円	57,965円
常勤医師数	36人	47人
企業債残高	51億円	34億円
一時借入金残高	9億円	9億円

②目標達成に向けた具体的な取り組み

- ・病院事業固有の専門性と経営感覚を併せ持った事務職員の育成と確保
- ・経営と医療の質の向上に向けた計画的な人材育成の推進
- ・DPC運用の最適化や医療機関別係数の向上に向けた取り組みを推進

③経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画

	R6	R7	R8	R9	R10
純損益	△2.8億円	1.6億円	4.0億円	4.2億円	4.7億円

点検・評価・公表

「江別市立病院経営評価委員会」による点検・評価を実施し、公表します。各年度の点検・評価の結果などを踏まえて、必要な見直しを実施します。

